様式３（2020.08改）

作成日　令和2年11月17日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393200171
事業所名	グループホーム奏　幡豆

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍によって地域との交流が中断しているが、散歩で行き交う人と挨拶を交わしたり、畑で農作業をする人と会話を交わしたりしている。 当日、玄関先には、名前も告げずに野菜のお裾分けが置いてあった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	令和2年1月の開催を最後に、運営推進会議が書面開催となっている。 市・長寿課や地域包括支援センター、自治会等の会議メンバーに、ホームの現況を記載した報告書を送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市内の全ての介護事業所を対象に、市・長寿課がメールで情報発信をしており、ホームにはほぼ毎日メールが届く。 当然、ホーム運営に関係のない内容も届くが、確かな連携の下に密な情報共有がなされている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホーム運営に協力的な家族が多く、運営推進会議や家族会への参加率も高い。 コロナ禍によって、一時は面会の全面禁止が法人方針として打ち出されていたが、現在は玄関ホールでの面会が可能である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

令和２年１月の開催を最後に、以降の運営推進会議は書面開催となっている。
家族をはじめ市・長寿課や地域包括支援センター、自治会等の会議メンバーに、ホームの現況を記載した報告書を送付している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										